

手形小切手判例百選〔第7版〕

神田秀樹 = 神作裕之編

2014年11月刊 / 208頁 / 本体2200円+税



学習

学部

LS

編集
担当者
から

手形・小切手というと、読者の皆さんには、授業で教わる以外、特になじみのない世界と思われるかもしれませんが。最近では、電子的支払・決済等の普及のため、手形・小切手の利用も減少しています。しかし、現在も手形・小切手が商取引において依然活用されていることは事実であり、社会に出る前にこの分野を習得することは、非常に有用です。

本書は、手形法・小切手法に関する重要判例を体系的に整理したうえで、100件収録しています。旧版（第6版）から、10年ぶりの刊行となりますが、この間、手形法・小切手法に関して、大きな改正は行われていません。ただ、関連する法律（民法、会社法、非訟事件手続法等）の改正を受け、内容のアップデートを行いました。また、本書は旧版と異なり、手形・小切手を中心とした有価証券に関する判例に絞って構成されています。

難解と言われる手形法・小切手法理論ですが、実際にはどのように法解釈され運用されているのか。実務と理論双方を効率良く学習できる格好の教材として、本書をお役立てください。（N.T）